

## 「S.E.N.S 養成カリキュラム（2012 年度版）」シラバス

### B. アセスメント

#### ◇ 心理検査法 I : WISC-IV（6 時間 : 2 P）

##### 【 概 要 】

LD 等の認知特性を把握するための基本検査である WISC-IV の理論と実際を述べる。検査の目的と内容、各下位検査の内容、下位検査が何を測定しようとしているか、検査の実施方法、検査中の観察、結果の見方等について説明する。実際に受講者に対して、下位検査の実施を体験させながら、検査の施行方法についての基本を説明する。さらに採点法や結果の整理方法に触れながら、検査結果の解釈と所見のまとめ方、結果の伝え方、他の検査結果も踏まえ、結果を指導プログラムの作成にどう役立てるか等についての説明を行う。

##### 【 キーワード 】

ウェクスラー式知能検査 (WISC-IV)、CHC 理論、合成得点、全検査 IQ (FSIQ)、言語理解指標 (VCI)、知覚推理指標 (PRI)、ワーキングメモリー指標 (WMI)、処理速度指標 (PSI)、プロセス得点、解釈、所見、個人内差

##### 【 到達目標と評価 】

- ① WISC-IV の内容と特徴を理解し、検査を行うことの意義を説明することができる。
- ② 各種合成得点、個人内差などの用語を説明することができる。
- ③ 各下位検査がどのような能力を測定しているかについて、基本的な説明をすることができる。
- ④ 検査結果に表れた個人の認知特性を読み取る方法について説明することができる。
- ⑤ 所見の書き方、伝え方、結果を活用する方法について説明することができる。
- ⑥ 検査の限界や他の検査結果や情報との付き合い方について説明することができる。
- ⑦ WISC-III から WISC-IV への変更点について説明することができる。